

ベッドタウンじゃ

県庁所在地である鶴見平市に隣接する佳野市(けやし)。

市外、県外の方は鶴見平市のベッドタウンくらいの印象しかないかもしれませんが、佳野市には港、空港、JR、高速道路ICがあり、交通インフラの要と言ってもいいほどの集中度です。



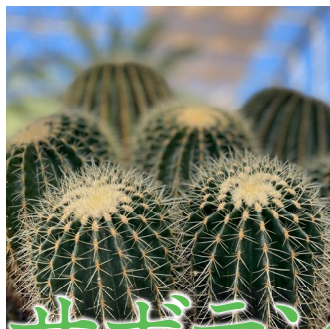
もったいない!

そして、日本海から朝霧山脈へ連なる自然豊かな風景が田園の中に広がります。

佳野市は、自然と交通に加え、サボテンの産地としても有名ですが、

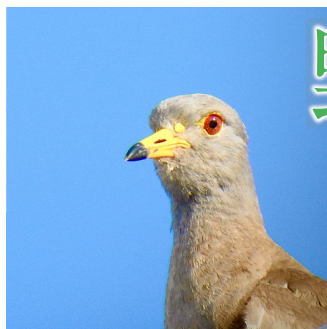
最近では名物グルメを発信しようという動きも盛んに行われています。そんな私たちの街、佳野市の魅力をお伝えします。

佳野市の底力



サボテン

佳野市はサボテンの産地として有名です。希少な品種を求めて遠方から訪ねる人も多くいます。最近は観賞用としてだけでなく、食用のサボテンも開発されるようになり、新たな名産としてサボテン料理も提供されています。



野鳥

佳野川河口付近は、小規模ながら干潟が形成されています。

四季を通じて様々な渡り鳥が羽を休めに舞い降ります。周辺に佳野市野鳥公園が整備されており、野鳥観察や憩いの場として一般に開放されています。



祭り

山間にある朝霧神社は指定文化財の社殿を初め、紅葉や桜など、四季を通じて見所がいっぱい。中でも秋に行われる大祭は、地元の子どもたちも参加する厳かなお祭りです。



きしめん

名古屋名物として有名なきしめんですが、何故かそれを佳野名物にしようという活動が盛んです。麺の幅2cm以上、店内手打ち、国産小麦使用などこだわりを詰め込んだ麺料理として、市内各所で提供中です。

ただのベッドタウンじゃない、佳野市には交通・自然・文化・グルメと多彩な魅力が詰まっています。知れば知るほど誇らしくなる、そんなまちがここにあります。